

2020年度

苫小牧聖ルカ幼稚園

評価欄に入れる記号

A	おおむね良い
B	普通
C	あまりできていないので、一部検討を要する

30 (人)

評価分類		内容	A	B	C	
I 保育の計画性	1	園の教育理念・教育目標の理解	① 園の教育理念や教育目標を理解し共感している	22	8	0
			② 園の教育理念に基づいて教育目標について園長や主任・教職員と話し合い、保護者に説明できる	21	7	2
	2	幼稚園教育要領の理解	① 幼稚園教育要領を読み、園長や主任・教職員と話し合っ理解に努めている	20	8	2
	3	教育課程の編成	① 園の教育課程は、幼稚園教育要領の精神を踏まえ、園の教育理念・教育目標を基に編成している	20	9	1
			② 園の教育課程を理解し、それに基づいて保育の計画を立てている	17	12	1
	4	指導計画の作成	① 指導計画は幼児の発達に即して幼児期にふさわしい生活を展開できるように具体的に作成している	18	9	1
			② 指導計画は幼児の実態や周囲の状況の変化に対応できるような順応性のあるものになっている	19	8	1
	5	環境の構成	① 安全で清潔感のある環境構成をしている	24	6	0
			② 幼児が主体的にかかわりたくなるような素材や遊具を考えて環境構成をしている	18	11	1
			③ 遊びに必要な遊具や用具、素材などを質・数量に配慮して用意している	14	15	1
			④ 園地・園庭の樹木や草花の名前、季節による変化などを理解し、環境構成に生かすようにしている	14	15	1
			⑤ 異年齢の幼児が自然に交流できるような環境構成をしている	18	11	1
6	評価・反省	① 自分の保育についての評価・反省をいくつかの観点から行っている	17	12	1	
		② 自分の保育を評価・反省することで、次の保育に生かせるようにしている	21	9	0	
II 保育の在り方、幼児への対応	1	健康と安全への配慮	① 朝の登園時には特に視診を大切にし、子どもの体調が悪くないかを確認している	27	3	0
			② けがや事故に気をつけ、万一、事故やけがが発生した場合は、園長に報告し、保護者に連絡をとり、医師に見てもらうなど適切な処置を行っている	27	3	0
			③ 園内に危険な箇所がないか、危険な遊び方はしていないか常に配慮し、危険が予測される場合は安全な遊び方について幼児と一緒に考えるようにしている	25	5	0
			④ 園内の清掃や整理整頓、換気、採光、室温などに気を配っている	24	6	0
	2	幼児理解	① 一人ひとりの幼児をよく観察すると同時に周囲にも目を配るようにしている	21	8	1
			② 幼児の話をよく聞き、幼児の思いを受けとめるようにしている	25	5	0
			③ 個々の幼児の発達の姿や課題について、見通しをもって理解できるようにしている	15	15	0
			④ 幼児同士のかかわりの姿を捉え、そこでの幼児の育ちを理解できるようにしている	22	8	0
			⑤ 幼児たちが今、興味や関心をもっていることを知るようにしている	22	8	0

Ⅲ 保育者としての資質と能力		⑥ 幼児の理解のために家庭との連携をとるようにしている	15	13	2
		⑦ 幼児の姿を多面的に捉えるように心がけるようにしている	22	8	0
	3 指導とかかわり	① 幼児の思いや考えに共感しながら、幼児と一緒に活動するようにしている	24	6	0
		② 幼児が理解しやすいような、正しい言葉を使うようにしている	19	10	1
		③ 幼児の心を傷つけたり、人権を無視したりする言葉や態度、かかわり方をしないようにしている	24	6	0
		④ 善悪の判断、思いやりなどの道徳性を培ううえでのモデルとなるように心がけている	21	8	1
		⑤ 幼児の一人ひとりのありのままの姿を受け入れ、その子のよさを認めるように心がけている	25	5	0
		⑥ 幼児の話をよく聞き、スキンシップをとるようにしている	24	6	0
		⑦ 幼児が遊びを深めていくための、適切な援助をするように心がけている	21	9	0
		⑧ 幼児の年齢に応じた援助の仕方を工夫している	17	12	1
		⑨ 幼児が自ら考えたり工夫したりできるように見守り、行き詰まっているときには適切な援助をしている	18	11	1
		⑩ 幼児同士のトラブルに対し、適切な対応をするように心がけている	18	12	0
		⑪ 幼児を無視したり、体罰を加えたりすることは、どのような場合もしないようにしている	27	3	0
	4 保育者同士の協力・連携	① クラスに関係なく、その場にいた保育者が適切な言葉がけや対応をするように心がけている	22	8	0
		② クラスの環境構成などについてもお互いにフランクに意見を交換し合っている	19	10	1
		③ 幼児のことについて保育者同士で話し合い、共通理解をするように心がけている	23	7	0
		④ 他のクラスや異年齢の幼児たちと触れ合うような、さまざまな工夫、保育の形態を取り入れている	16	13	1
	1 専門家としての能力・姿勢・義務	① 幼児の性格や個性を把握し、幼児の考えや感じていることを理解するようにしている	23	7	0
		② 保護者に対し、幼児や自分の保育のことをわかりやすく話し、保護者との信頼関係を築くよう努めている	17	12	1
		③ 保育時間外でも保育者としての誇りと自覚をもった言動を心がけている	18	12	0
		④ 幼稚園には自分自身のプライベートな生活をもち込まないようにしている	23	7	0
⑤ 幼児や保護者との対応には、公平さを欠かさないようにしている		24	6	0	
⑥ 服装、髪形、身だしなみなど、清潔感のあるものを心がけている		27	3	0	
⑦ 職務上、知り得たプライバシーに関する情報などの秘密を守るように心がけている		27	3	0	
⑧ 園の重要書類は持ち出さないようにしている		29	1	0	
⑨ 締切りのある仕事や提出物は締切日をきちんと守るようにしている		26	4	0	
2 組織の一員としての在り方	① 教職員全員で一つのチームであることを自覚するように心がけている	26	4	0	
	② 他の意見を素直な気持ちで聞いて、自分の意見を述べるよう努めている	23	6	1	
	③ 子どものこと、クラスの出来事などで必要なことは園長や主任に報告、連絡、相談をしている	23	6	1	
	④ 当番や役割による仕事は確実にこなしている	26	4	0	
	⑤ 園や保育者に関することについては、軽はずみに他に話さないように心がけている	27	3	0	

	3	保育の楽しみ・喜び	① 幼児の成長を自分の喜びと感ずることができる	29	1	0	
			② 幼児と一緒に生活を創りだすことを楽しいと感ずることができる	28	2	0	
IV 保護者への対応	1	情報の発信と受信	① 保護者に個々の幼児の様子を伝える工夫をしている	21	7	2	
			① 保護者からの相談や要望には心を開いて、よく話を聞くように心がけている	22	6	2	
	2	守秘義務の遵守	① 保護者の住所、電話番号など個人情報の管理については園の方針に従っている	30	0	0	
			② 個々の幼児や保護者、家族の情報は口外しないようにしている	30	0	0	
	3	対応上のマナー・心がまえ	① 日常生活において、その場にあった正しい言葉を使うようにしている	21	9	0	
			② 電話は、相手が見えないために誤解が生じやすいことを心に留め、簡潔にわかりやすく話すことを心がけている	17	13	0	
			③ 保護者からの依頼や伝言については、メモをするなどきちんと対応している	23	6	1	
	4	クレームへの対処の仕方	① 保護者からクレームがあった場合は、まず謙虚にその話を聞き、園長に報告、連絡、相談をしている	20	10	0	
			② クレームの内容によっては教職員全体で検討し、共通理解のうえで対処している	19	11	0	
	V 地域の自然や社会との関わり	1	地域の自然・人々とのかわり	① 地域の人々と親しくあいさつや会話を交わすように心がけている	20	10	0
				② 地域の自然や主な施設の場所、交通機関、行事などについて理解するよう努めている	13	13	4
				③ 地域の自然や機関についてマップを作成するなど、利用しやすい工夫をしている	6	10	14
2		小学校との連携	① 小学校の教育内容について理解するよう努めている	7	14	9	
			② 地域の小学校の行事や公開授業に関心を持っている	6	18	6	
3		子育ての支援と地域への開放	① 子育て支援や地域開放について具体的な内容を理解するよう努めている	13	16	1	
			② 子育ての支援や地域開放について、教職員全体で話し合っている	12	14	4	
VI 研修と研究		1	研修・研究への意欲・態度	① 研修会や研究会には自己課題をもって進んで参加している	5	16	9
				② 自分の保育について自己課題をもって評価・反省を行っている	16	14	0
	③ 自分の保育の在り方や悩みについて、他の保育者や主任、園長に相談している			17	12	1	
	2	保育者としての専門性に関する研修・研究	① 幼児の発達理論を学び、保育にいかすための研修・研究を行なっている	7	16	7	
			② 記録の取り方、考察の仕方に関する研修・研究を行なっている	4	15	11	
			③ 教育課程や指導計画の理解と作成に関する研修・研究を行なっている	5	15	10	
			④ 保育記録に基づいた評価方法と計画に関する研修・研究を行なっている	5	14	11	
			⑤ 幼児の発達を見通した環境構成や教材に関する研修・研究を行なっている	4	17	9	
			⑥ 保護者への対応に関する研修・研究を行なっている	3	20	7	
			⑦ 地域社会との交流に関する研修・研究を行なっている	2	15	13	
			⑧ 保育者同士の協力・連携に関する研修・研究を行なっている	6	17	7	
	3	今日的課題に関する研修・研究	① アレルギー、自立の遅れなど、最近多く見られる問題について理解している	12	17	1	
			② 障がいのある幼児の理解と対応について研修している	11	13	6	
			③ 預かり保育や子育ての支援について研修している	6	16	8	
			④ 幼小連携の必要性や具体的方策について研修している	4	16	10	
⑤ 危機管理の必要性と対応について研修している			7	15	8		

